

第 89 号 平成 28 年 1 月

医療法人 湘南ホスピタル
長谷川会

藤 沢 市 辻 堂 3 - 10 - 2
TEL 0466 - 33 - 5111

発行責任者 服部 正明



スキー場から望む飯士山いいじさん（舞子スノーリゾート 新潟県南魚沼市）

理 念

人を暖かく迎える医療
地域の健康の守り手 高齢者をささえる医療 心を大切にする医療

基 本 方 針

1. 良質な療養病床機能を提供します
2. 外来診療・在宅療養支援の充実をはかります
3. 居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションの充実をはかります
4. 地域とのつながりを強化します
5. 医療安全対策を推進します
6. 生涯教育と自己啓発につとめます
7. 接遇の向上と倫理的配慮を優先します

新年のご挨拶

2016年の穏やかな新春を迎えました。みなさま、あけましておめでとうございます。

今年も、湘南ホスピタル・ケアポート湘南・コスモス訪問看護ステーションより、心をこめた、暖かい医療をお届けできるよう、職員一同、気持ちをあらたに、スタートしたいと思います。



理事長・院長
木原 明子

辻堂海岸に立つと、穏やかな湘南の海を目の前に、左手には江ノ島、右手には富士山、さらに、よく晴れた日は水平線の遠くに大島を望むことができます。また、

喜ばしいことに、今年12月1日には辻堂駅が開設100周年を迎えます。そして、湘南ホスピタル

(旧：長谷川病院)は、今年2月4日に、創立87周年を迎えます。87年間、あゆみ続けてこられたのは、地域の皆様が当院を信頼してくださり、日々、育ててくださったおかげです。この1年も、地域の皆様の健康管理、疾病の予防や治療、看護や介護の提供、健康・医療・介護福祉についての情報発信などに力を注ぎ、皆様のお役に立てるよう、取り組んでまいりたいと思います。

外来では内科全般の総合的な診療の質を常に保ち、専門内科の外来をさらに充実させてまいります。また、健康診断・人間ドックの充実と、結果報告のわかりやすさをめざします。

肺炎ワクチンやインフルエンザワクチンなど予防接種にさらに力をいれ、今年も、地域の皆様に向けて健康をテーマに講演会を企画してまいります。

病棟は、医療療養病床が104床あり、外来通院中の方や地域で療養中の方が、急病になられたとき入院する場合と、総合病院・救急病院での治療を終えて、引き続き療養が必要な方が転入院する場合と、両方の場合がございます。入院されたときから様々な専門職種（医師、看護師、看護助手、薬剤師、栄養士、理学療法士、歯科医師、医療ソーシャルワーカーなど）がチームで計画的に関わり、カンファレンスを通じて、安心して退院できることをめざしてまいります。

訪問診療・往診は、通院が困難な方やケアマネジャーの方からのご希望により、おこなっております。これからも充実を図ってまいります。

藤沢市では藤沢型地域包括ケアシステムを構築するための取り組みが始まっています。これは「地域で支え合うしくみ」であり、「顔の見える関係、心の通う関係」を基礎にした取り組みです。湘南ホスピタル・ケアポート湘南・コスモス訪問看護ステーションは、他の医療機関や介護保険事業所の方々と連携を図りながら、地域を支える役割をしっかりと果たして行けるように努めてまいります。法人の理念、人を暖かく迎える医療——地域の健康の守り手・高齢者をささえる医療・心を大切にする医療、を心に、今年もどうぞよろしくお願いいたします。



ケアポート湘南

新年あけましておめでとうございます。

ケアポート湘南は介護保険がスタートした平成 11 年に開所になり、今年で 17 年目を迎えることになりました。現在 5 名の介護の知識を幅広く持ったケアマネージャーが在籍しており、介護が必要になった方々の担当をさせていただいております。介護保険もスタート当時に比べると、改正がくりかえされており、制度の内容もいろいろと変更になっております。

また平成 28 年度に、藤沢市では、「藤沢型地域包括ケアシステム」という新しい制度が始まります。これは、誰もが、地域で安心して暮らしていくことができる地域社会の実現を目指すものです。

全ての方が平等に 1 年毎に歳を重ねて行きます。それに伴い、体力や筋力の低下も出て、毎日の生活に支障が出てきます。また、不慮の転倒による骨折や病気で今までの生活が一変してしまう場合もあります。



「困った。どうしよう?」と思われたら、まずは、相談に来所していただきたいと思います。介護保険の説明、相談や行政との連絡調整や施設入所等に関するアドバイスをさせていただきます。これからも安心してご自宅ですごしていただけるようお手伝いをさせていただきます。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

介護相談の窓口

コスモス訪問看護ステーション

新春のお喜びを申し上げます。

コスモス訪問看護ステーションは今年 16 年目に入りました。現在は、看護師 5 名と理学療法士 1 名、事務員 1 名が元気に働いております。在宅療養されている約 70 名の方にご利用頂き、0 才の赤ちゃんから、100 才のご高齢の方まで、様々なご年齢や病状の方を訪問させて頂いております。

訪問看護では、お身体の状態を観察し（体温、脈拍、血圧測定、病気や障がいの状態など）入浴、食事・排泄の介助や医療処置、リハビリテーションなどを行っています。

具体的には、小さいお子さんなどには、遊びを通して成長発育を促したり、食事や栄養の助言やご両親の育児の悩みをお聞きして、一緒に解決できるよう支援しています。時には兄弟姉妹の心のケアも行います。一方、ご高齢の方には、ケアマネージャーと連携しながらサービスの内容を調整し、病状やご自宅の環境にあった必要なケアを行います。また、介護者様ががんばりすぎないように、少しでも楽に、長く続けられる介護方法を提案しています。



皆様のご希望をお聞きしながら、「住み慣れた家で安心して暮らしたい」思いを大切に、いつも寄り添う気持ちで、今年も訪問看護をさせて頂きたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願い致します。



管理者
廣瀬 ひろみ



管理者
守田 加奈子

「心房細動」について

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。
今回は「心房細動」について、お話しいたします。

心房細動とは

正常な心臓は、安静時に毎分 60～80 回、規則正しく脈を打ちます。心房細動とは、心房が毎分 300 回以上の速さで痙攣し、心臓は不規則に脈を打つようになります。心房細動は健康な方にも発症しますが、高血圧、糖尿病、心臓病や慢性の肺疾患のある方に発生しやすく、カフェインやアルコールの過剰摂取、睡眠不足、精神的・肉体的ストレス時に発生しやすくなります。また、若い方にはほとんどいませんが、



60 歳を過ぎると増えだし、80 歳以上になると男性の 4.4%、女性の 2.2%に発症し、日本では 70 万人以上が心房細動を持っていると推定されています。「どきどきする」、「胸が苦しい」、「脈が乱れる」、「ふらふらする・めまいがする」、「息切れがする」、「階段や坂を上るのがきつい」などの症状がありますが、全く症状がないこともあります。

心房細動の乱れた脈が命に関わることはほとんどありませんが、脈が速すぎることによる心不全や、心房に血栓ができて頭などの血管に流れていってしまう心原性脳梗塞が問題となります。心房細動に対する治療として、正常な脈に戻す治療（リズムコントロール）、心房細動のまま脈拍数を落ち着かせる治療（レートコントロール）、血液をサラサラにして脳梗塞を予防する治療（抗凝固療法）があります。

リズムコントロールとレートコントロール

内服薬での治療の場合、どちらを選んでも予後（命に関わったり入院したりすること）に大きな差はありませんでした。これは、内服薬で正常な脈に戻そうとした場合、使用当初は有効であっても徐々に効果がなくなり、最終的には慢性化していくことが多いことが理由です。近年、心房細動がカテーテルアブレーション（手術）で治るようになり、状況が大きく変わってきています。

カテーテルアブレーション

心房細動は、肺の静脈からでた異常な電気が原因となっていることが多く、肺静脈と左心房の間をカテーテルでやけどを作り、電気が流れないようにすることにより治療できます。発作が起きたり治ったりする発作性心房細動の方の場合、8～9 割が治る有力な治療となっています。

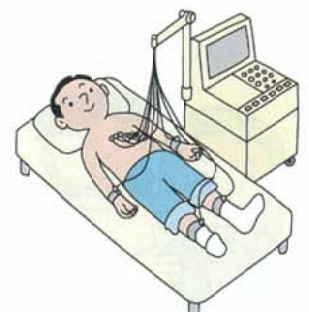
抗凝固療法

脳梗塞の 15%が心房細動による血栓が原因で、心房細動患者は年間 5%の確率で脳梗塞になります。高齢（75 歳以上）、高血圧症、糖尿病、心不全、脳梗塞になったことがある方はリスクが高いと考えられ、抗凝固療法を行った方がよいとされています。以前は納豆やクロレラが食べられず、採血で効果を確認しなければならなかったワルファリンしかありませんでしたが、最近は決められた量を飲み、食事制限がないものが出てきています。

最後に、このように症状がなければ見つかりにくい心房細動ですが、放置していると慢性化し、脳梗塞の危険性が増していきます。胸の症状が気になる方、健診で心房細動と言われた方は一度心臓の検査を受けましょう。



循環器科内科
木村 裕一郎



泌尿器科について

新年あけましておめでとうございます。

昨年 4 月より泌尿器科の担当をさせていただいております木内寛一と申します。
2016 年も皆様にとって良き 1 年となりますようお祈り申し上げます。



泌尿器内科
木内 寛一

さて、泌尿器科と聞いて皆様はどのような分野をイメージされるでしょうか。「尿」という文字が入っておりますので、文字通り「おしっこ」に関連する分野です。尿が赤い「血尿」や、尿が濁っている「膿尿」や、尿に菌が混じっている「細菌尿」などがある場合には我々の出番となります。(尿にタンパク質が混じっている「タンパク尿」は腎臓内科の守備範囲となります。) その他、おしっこが出したくても出せない「尿閉」や、おしっこが漏れてしまう「尿失禁」などがある場合にも我々の出番となります。

血尿がある場合には、膀胱炎・精巣上体炎などの「尿路感染症」や、尿路系に結石が生じ激痛を伴う「尿



路結石」や、腎がん・膀胱がんなどの「尿路腫瘍」を疑います。ただし、激しい運動をした場合にも尿が赤く見えるミオグロビン尿などは血尿とは違います。また、血尿には目に見えて分かる「肉眼的血尿」と、目では分からなくても尿検査をすると分かる「顕微鏡的血尿」があります。

肉眼的血尿であればおそらくびっくりして受診されると思いますが、顕微鏡的血尿は自覚症状がないため見過ごしやすく健診などで見つかるケースです。この場合も上記のような疾患が隠れている場合がありますので、一度受診をされると良いかと思えます。

膿尿の場合には、尿中に白血球が多数あるということを示し、尿路結石・尿路感染症・尿路腫瘍で見られます。膿尿があり、さらに詳しく調べて細菌尿がある場合には、血尿や頻尿や排尿時痛などの尿路感染症症状を確認し、尿路感染症と診断されます。

このように尿に関する代表的なものを取り上げましたが、実は泌尿器科の守備範囲は皆様がイメージされる以上に多岐にわたります。具体的には、腎臓・副腎・尿管・膀胱・前立腺・尿道・精巣・陰茎などに関する外科的な手術にも携わります。局所麻酔でできる小手術から、脊椎麻酔・全身麻酔を用いて行なう大きな手術まであります。術式も開腹手術・腹腔鏡手術のほか、最近ではロボットを用いて遠隔的に行なう手術まで様々なものがあります。精査を進めていくなかで手術が必要ということになりましたら、近医の総合病院の泌尿器科にご紹介させていただく場合もあります。



最後になりましたが、男性の検診で PSA 検診というものがあります。前立腺の腫瘍マーカーですので、これが 4ng/mL より高い場合には前立腺肥大症のほか前立腺癌の可能性もありますので早めの精査をおすすめ致します。

「医薬品副作用被害救済制度」についてご存知ですか？

～お薬を使うすべての方に知ってほしい制度です～

「医薬品副作用被害救済制度」とは

「お薬は正しく使えば副作用は出ないはず・・・？」

いいえ。医薬品は正しく使っていても、副作用の発生を防げない場合があります。そこで、医薬品（病院・診療所で処方されたものの他、薬局等で購入したものも含みます）を適正に使用したにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付を迅速に行うための公的な制度が、「医薬品副作用被害救済制度」（創設：昭和 55 年 5 月 1 日）です。給付のしくみについて（請求、判定、諮問、決定など）



薬剤科長
佐藤 玲子



救済給付について

患者さまが請求する給付の種類を確認することが必要です。

入院治療を必要とする程度の医療を受けた場合：医療費、医療手当

日常生活が著しく制限される程度の障害がある場合：障害年金、障害児養育年金

死亡した場合：遺族年金、遺族一時金、葬祭料



給付対象とならない場合

法定予防接種を受けたことによるものである場合（但し、別の公的救済制度があります）、がんその他の特殊疾病に使用される医薬品等で厚生労働大臣の指定するもの（対象除外医薬品）等による場合対象外となります。またお薬を正しく使っていない場合など対象とならない場合があります。

給付の請求

健康被害を受けたご本人またはそのご遺族が直接 PMDA（医薬品医療機器総合機構）に対して行います。その際に、医師の診断書や投薬・使用証明書、受診証明書などが必要となります。

「医薬品副作用被害救済制度」をご利用なさりたい方、ご遠慮なく当院にご相談ください。

救済制度
相談窓口

◎救済制度についての詳細は、PMDA にご相談ください。

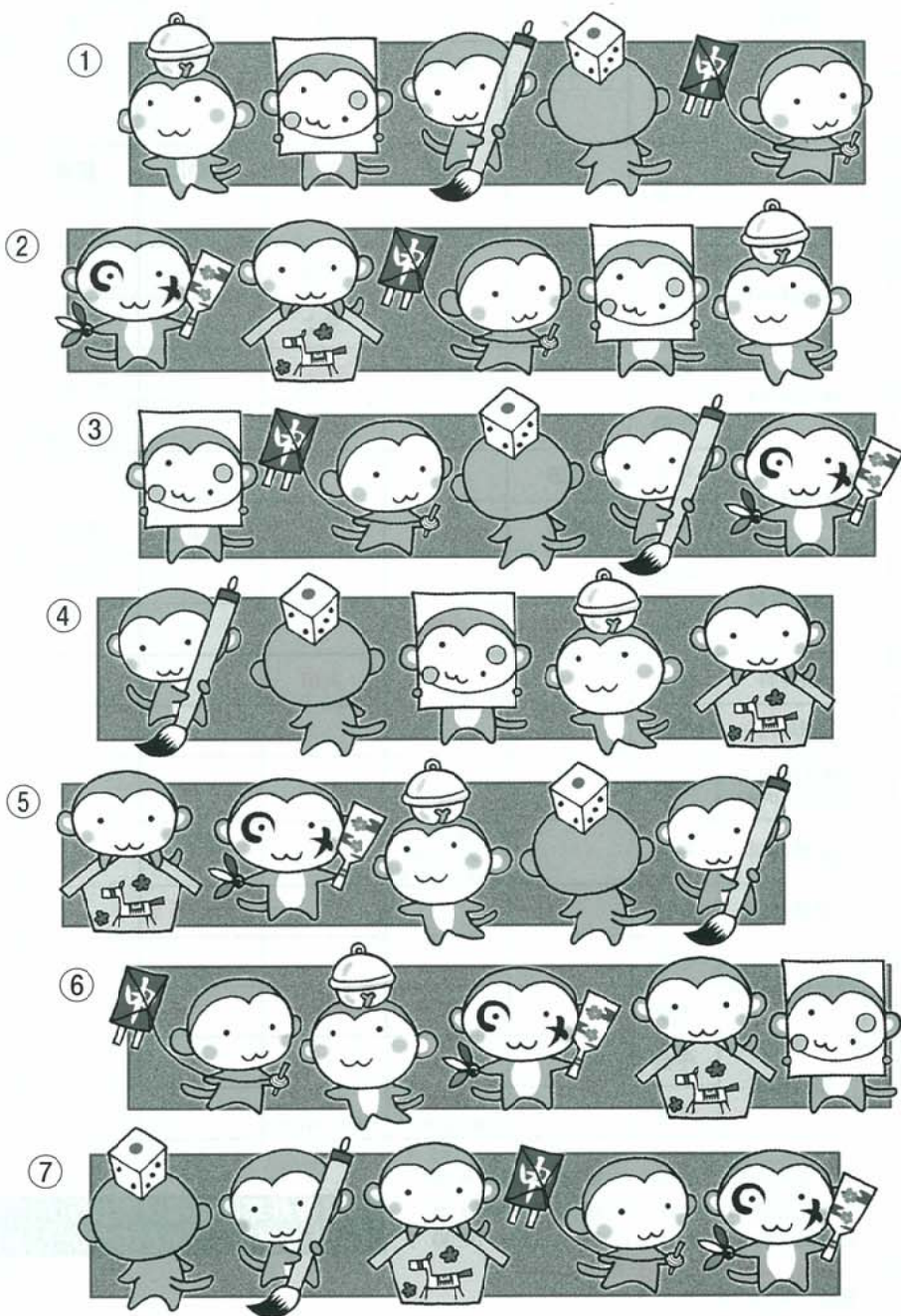
☎ 0120-149-931 受付時間：午前 9:00～午後 5:00/月～金(祝日・年末年始を除く)

メール：kyufu@pmda.go.jp

セイム・セット

あけましておめでとございます。
 新年のパズルはセイムセットです。

7種類のおサルが5頭ずつセットになっていますが、同じ5種類のセットは1組(2セット)だけです。何番と何番でしょうか？



和田生花店さんによって
 当院の花壇がキレイになりました。
 ありがとうございました。

7	9	4	6	5	1	2	8	3
6	5	8	3	4	2	①	9	7
2	1	3	7	8	9	6	4	5
8	7	9	4	1	5	3	6	2
1	2	⑤	8	3	6	9	7	4
3	4	6	9	2	7	5	1	8
4	8	1	5	9	3	7	2	6
5	6	2	1	7	4	8	3	9
9	3	7	2	6	8	4	5	1

- ◆応募方法 答え、住所、郵便番号、氏名、フリガナ、年齢、電話番号をはっきり書いて、待合室横の投書箱に入れるか、ハガキで送って下さい。ハガキの場合の宛先は当院「麗日編集部」まで。1人1枚に限ります。
- ◆なお、読者の皆様からお預かりした個人情報、当院が責任を持って管理いたします。
- ◆賞金 正解者の中から1人に1万円、2人に各5千円、20人に図書カードを抽選で。
- ◆締め切り 4月末日
- ◆発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- ◆10月号の答え「6」



HOSPITAL 湘南ホスピタル 外来診療担当表 (平成28年1月1日現在)

赤字は原則として予約制です。曜日により専門科の医師が一般内科の診療も行います。

診療科		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	富田	黄(麗) 木原	木原	松枝	松井	松枝 富田
	午後	富田	松枝 (一部予約) 木原 (第3週休み)	井上	常勤医	富田	
呼吸器内科	午前		木原	木原		木原	木原
	午後		木原 (第3週休み)	井上			
消化器内科	午前		黄(麗)	黄(沾)		黄(沾) 10:45~	松枝
	午後			黄(沾)		黄(沾) (第1・3週)	
循環器内科	午前	富田			木村		富田
	午後	富田			木村 14:30~	富田	
神経内科	午前	安德	安德			松井	
	午後	安德	安德				
精神科	午後			丸田			
整形外科	午前						吉田
糖尿病内科 内分泌内科	午前			廣井	小田		
泌尿器科	午後		木内 (第1・3週) (14:00~16:00)				
栄養相談	午後				管理栄養士		
特定保健指導	午前	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士
	午後	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	
禁煙外来	午前		木原			木原	
	午後		木原 (第3週休み)	木原 (18:00~19:00)			



午前受付時間 8:00~11:30(診療開始 9:00)
 午後受付時間 11:30~16:30(診療開始13:30)
 電話問合わせ 8:45~11:30 13:15~16:30
 休診日 土曜午後・日曜・祝日
 電話:0466-33-5111

禁煙外来は水曜夕方も行っています。
 仕事帰りにいかがですか?(予約制)

! 表紙写真募集!

麗日 5 月号の表紙写真(初夏の風景画)を募集します。

<応募方法>

郵送またはメール郵送の場合

〒251-0047 藤沢市辻堂 3-10-2

湘南ホスピタル 麗日編集部

メールの場合 e-mail hospital@shohos.org

件名に麗日編集部宛と記載して下さい。

お一人様何点でも応募できます。

<応募期間>平成 28 年 1 月 4 日~4 月 20 日



障害者施設によるパン販売を始めました

毎週金曜日 11 時 30 分頃より

販売場所: 外来待合室

販売施設 県央福祉会 ふじさわ爽風舎 ピーターパンダ

